

財政の健全性維持

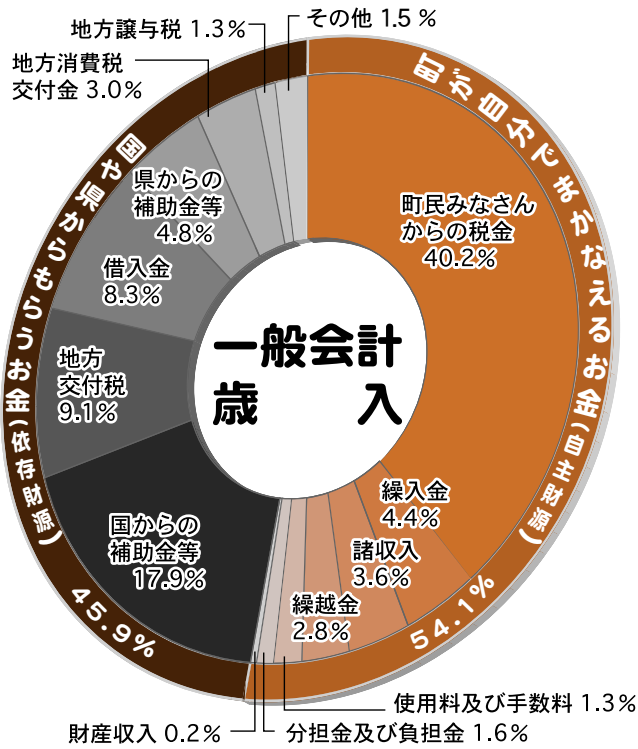
健全化判断比率の改善進む

第3回定例会は、9月7日から16日までの会期で開かれ、町長から、平成21年度決算・条例改正・補正予算など、19議案が提案されました。

平成21年度一般会計ほか8会計決算については、「決算特別委員会」で慎重に審査しました。その後、本会議において討論・表決が行われ、一般会計決算を11対4の賛成多数で、ほか8会計決算を賛成全員で認定しました。

決算以外の議案についても、すべて原案のとおり可決しました。

一般質問は7日・8日に行われ、8議員が論戦を展開しました。



平成21年度 一般会計決算の特徴

歳入・歳出ともに前年度の伸び率を上回る

歳入…11.3%増

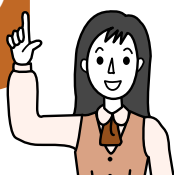
自主財源比率が65.1%から54.1%に低下しました。地域活性化や家計支援を目的として、国からの補助金が2.3倍に増加した一方、法人町民税を中心とした町税収入の落ち込みなどがありました。

歳出…12.1%増

歳出増加の大きな要因は、国からの補助金を活用した事業の増加、定額給付金や子育て応援特別手当の支給などです。これらは一時的な事業であり、継続的な事業に大きな変化はありませんでした。

積立金取崩額は2期連続の計上、実質単年度収支も2期連続の赤字となりました。

決算内容をチェック！
4.5ページに掲載



実質収支

4億3601万円の黒字で引き続き良好

財政力指数

0.85 (前年度より0.01ポイント上昇)
平成13年度から9年連続改善!

積立金現在高

38億5248万円 (前年度より2億4312万円減)

地方債現在高

93億4154万円 (前年度より1億2950万円増)

将来の財政負担

54億8907万円 (町民1人当たり14万8000円)

平成 21 年度 一般会計決算に対する討論

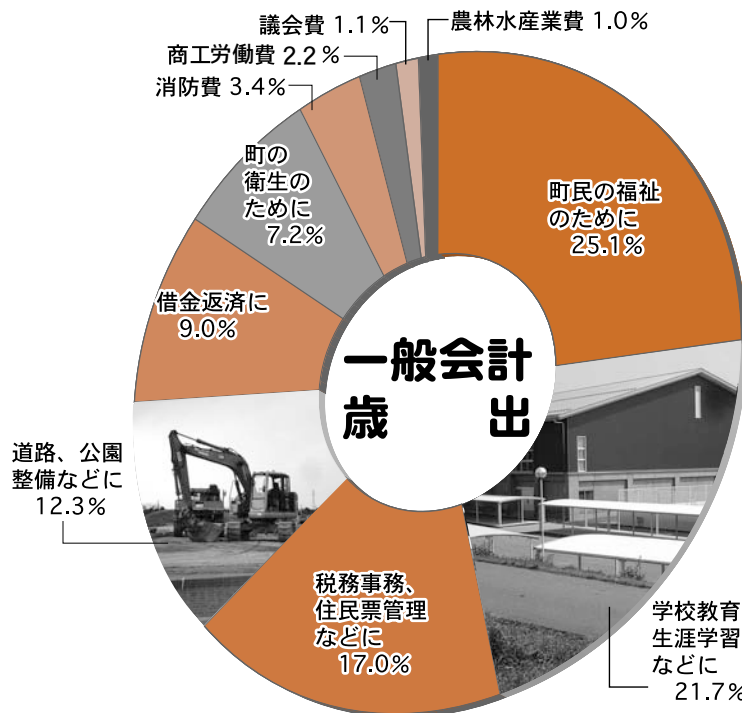
反対です 専決処分により町税滞納者と和解し、違法に和解金を公金支出している。また、臨時職員・嘱託職員の雇用形態の改善も進んでいない。これらの理由により、認定できない。
町田宗宏 議員

反対です 税金の徴収は、法のもとに平等である。しかし、税金滞納処分を不服とした1人に、62万円を払って和解した行為は異例である。既に決算として終わった件ではあるが、この1点だけは承認できない。
備前島久仁子 議員

反対です 防災行政無線の整備は、見直しによりもっと少ない予算で効果が出せる。設計委託料として400万円近い高額な支出が行われている。理解できない。
笠原則孝 議員

賛成です 経済不況による難しい財政状況の中、ハード面・ソフト面ともよくできた決算と考える。今後も、町民サービスが低下しないよう、事業を進めていくことを希望し、賛成する。
筑井あけみ 議員

賛成です 私は問題ないと思うが、滞納処分に関する和解に問題があったとしても、歳出全体を否定することは、その恩恵を受けた町民に冷水を浴びせることとなる。失速した経済情勢下、住民福利の向上に寄与した決算と理解し、賛成する。
石川眞男 議員



《一般会計・特別会計》 【歳入】 【歳出】

一般会計	114億4088万円	108億9901万円
国民健康保険 特別会計	33億1333万円	30億2665万円
老人保健 特別会計	1177万円	960万円
後期高齢者医療 特別会計	1億9094万円	1億8942万円
介護保険 特別会計	13億9748万円	13億7027万円
介護予防サービス事業 特別会計	986万円	986万円
下水道事業 特別会計	11億6792万円	11億1429万円

《事業会計》 【収入】 【支出】

水道 事業会計	6億720万円	7億436万円
農業共済 事業会計	5532万円	4959万円

健全化判断比率	平成19年度	平成20年度	平成21年度	早期健全化基準
◆実質赤字比率 自治体の一般会計の赤字の程度	黒字	黒字	黒字	14.13%
◆連結実質赤字比率 公営事業も含めた赤字の程度	黒字	黒字	黒字	19.13%
◆実質公債費比率 借金の返済額の割合	7.7%	7.6%	7.0%	25.00%
◆将来負担比率 将来支払うことになる負担	黒字	黒字	黒字	350.00%

早期健全化基準を下回っており、健全であると判断できます